

JFA U-12 2023EHIME南予リーグ開催要項

1 リーグ規定

- リーグ戦をやむを得ない事情で棄権した場合は0-3のスコアで処理する。
※やむを得ない事情とは学校行事、インフルエンザ等
※交通事故等で遅れる場合等は会場責任者と委員長で対応する。
- 悪天候等のより開催ができない場合は延期する。詳細は本部が決定する。
※雷等により中断をした場合は、回復を待って再開する。再開については協会規定による。
※再開できない場合は、延期する。以後の予定については本部が決定する
- 各節に出場するメンバーは16名とする。
※協会に登録している者より16名を選択し、メンバー表をブロックの係に提出する。
※節によってメンバーの変更はOK(ただし、チームの一員として協会に登録されている者に限る。)
- 会場設営はブロックのチームで協力して行う。
- 参加料7,000円(1チーム)

2 審判

- 本部で割り当てる。(1人制)補助審判(必須)
- 当該年度の日本サッカー協会8人制ルールで行う。
- 交替は自由(人数、アウトオブプレイでなくてもよい。但し、コート内は8人ということを徹底する。)
- Yカード3枚で次の試合、Rカード1枚で退場&次の試合出場停止(2020年度より)
※Rカードの処分については規律委員会の後日決定する。(出場停止が増す場合もある。)

3 試合

- ユニホームを着用する。但し、重なった場合はビブス(番号付)可
- 1日2試合以内。土日の連続の試合ははリーグとしては認められない。
- 試合時間20分ハーフ
- コート(68×50)
ペナルティエリア 【12M】 ペナルティマーク 【8M】
ゴールエリア 【4M】 センターサークル 【7M】
- 1次リーグの抽選は新人戦決定戦参加チームをシードとする。県大会出場チームは、第1シード、残りを第2シード C、Dブロックはフリー抽選とする。(ABブロック4チーム C、Dブロック5チーム)
2次リーグ(上位Ⅰ、Ⅱ)AB上位3位までCD1位、ABの4位とCDの2位は入れ替え戦(A×C、B×D)を行う。合計10チーム、下位Ⅲ、Ⅳ8チーム
Iブロック:5チーム IIブロック:5チーム IIIブロック:4チーム IVブロック:4チーム
- Iブロック A-1、B-2、A-3、C-1、B-4orD-2
IIブロック B-1、A-2、B-3、D-1、A-4orC-2
IIIブロック A-4orC-2、D-3、C-4、D-5
IVブロック B-4orD-2、C-3、D-4、C-5
- 全日予選では、Ⅰ・Ⅱブロックの上位2チームが第1シード、3位4位チームが第2シードとなる。
第1シード、第2シードの振り分けは抽選とする。(2021より)
残りのチームはフリー抽選とする。
- リーグ対戦表(別紙1~4)、最終予選対戦表は別紙5参照

4 その他

※参加費7,000円抽選会の時支払う。(2月24日)

【競技規則】

2022-2023(財)日本サッカー協会競技規則による。但し、以下の項目については特に少年用として大会規定に定める。

(1) 試合時間は40分(20分ハーフ)とする。

(2) 勝点制(勝ち3点・引き分け1点・負け0点)により順位を決定する。

勝点が同点の場合は①得失点差 ②総得点 ③直接対戦の勝敗で順位を決定する。

チームの勝点その他がすべて等しい場合はPK戦により、順位を決定する。

(3) 競技場の広さは下記の通りとする。

縦68M×横50M

ペナルティエリア【12M】 ペナルティマーク 【8M】 ゴールエリア【4M】

センターサークル【7M】

(4) 競技者の数

試合開始時に8人に満たない場合は試合参加はできない。

試合中に怪我等による人数不足の場合はそのまま試合を続行できる。

(5) 選手交代: 交代は、ボールがインプレー中、アウトオブプレー中にかかわらず行うことができ

交代要員は、交代ゾーンからフィールドに入り、競技者となる。ゴールキーパーの交代は事前に通知した上で、アウトオブプレー中に入れ替わることができる。

* 交代で退く競技者が負傷している場合は、主審の承諾を得た上でフィールドのどこから離れてもよい。

補助審判員は交代の手続きが円滑に行われるよう、主審を援助する。

(6) 試合球は検定皮革4号縫いボールとする。

(7) 審判は1人体制で行う。(補助審判をおく)

(8) 選手の用具

1 本競技会に登録した1着以上のユニフォーム(シャツ、ショーツ及びソックス)を試合会場に持参し、着用しなければならない。(2着以上の持参が好ましい。)

2 ユニフォームのデザイン、ロゴ等が異なっても、本競技会主催者が認める場合、主たる色が同系色であれば着用することができる。(ビブス等も可)。

3 ゴールキーパーのユニフォームについて、ショーツ、ソックスはフィールドプレーヤーと同系色でも良いものとする。

4 主審は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断したときは、両チームの立ち会いのもとに、その試合においていずれのチームがビブス等を着用することを決定する。

5 ソックスにテープまたはその他の材質のものを貼り付ける、または外部に着用する場合、ソックスと同色でなくても良い。

6 アンダーシャツの色は問わない。ただし原則としてチーム内で同色のものを着用する。

7 アンダーショーツおよびタイツの色は問わない。ただし原則としてチーム内で同色のものを着用する。

(9) 警告は1試合2回で退場し、次の試合に出場できない。退場の場合には次の試合に出場できない。

また、累積警告は通算3回で次の1試合に出場できない。(2020年度より)

競技者が退場を命じられた場合は、交代要員の中から補充できる。補充要員がいない場合は、少ない人数で行う。

(10) キックオフゴールは認めない。その場合はゴールキックで試合再開する。

(11) PK戦は3人がキックを行う。勝敗が決定しない場合はサドンデスで行う。

(勝点その他すべてが等しい場合に行う。)

(12) 運営上の規則に違反した場合には、規律委員会の評議により、ペナルティを決定する。